

景況レポート

(6月分・情報連絡員 80名)

製造業・非製造業ともに売上が減少

【概況】6月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが10.0%(前月調査7.5%)、「悪化」が51.3%(同42.5%)で、業界全体のDI値は-41.3となり、前月調査と比較し6.3ポイント下回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-43.7で前月調査(-31.2)に比べ12.5ポイント下回った。また、非製造業全体のDI値は-39.6で前月調査(-37.5)に比べ2.1ポイント下回った。

製造業は、木材・木製品製造業を中心に設備操業度が上昇した。非製造業は、自動車販売業で登録車が12ヵ月連続で前年同月を上回る等、一部業種で景況に改善が見られるものの、全体のDI値は2ヵ月連続で低下しており、回復感は乏しい。

(回答数:80名 回答率:100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
業種						
製造業	☁	☁	☁	☁	☁	☔
非製造業	☁	☁	☔	☁	☁	☔

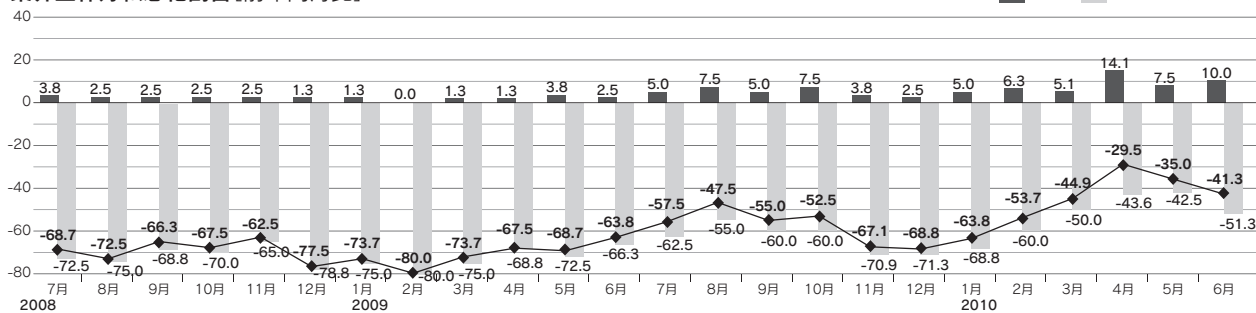
【凡例】

快晴 30以上	晴れ 10以上 30未満	曇り △10以上 △30未満	雷雨 △30以下

【天気図の見方】
前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



業界の声

パン製造	6月後半の暑さで売上がダウンしており、厳しい状況である。
豆腐製造	毎年この季節は売上が低迷するが、今年は特に動きが悪かった。
清酒製造	5月分の清酒出荷量は1,350kℓで、前年同月比90.2%で推移した。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比で102.9%、純米酒が104.8%、本醸造酒が85.4%、レギュラー酒が88.2%という状況になっている。
味噌・醤油	5月分の出荷量は、前年同月比で味噌が92.6%、醤油は99.6%で推移した。
木材・木製品	原木は取扱量・単価共に上昇している。県外では国産材に移行する動きが見られ、集成材用のスギは堅調に推移しているが、価格が下落気味である。[一般製材] 木材価格は全体ではまだ低調であるが、合板用素材の価格が1㎡あたり360円程度値上がりして、昨年4～7月の価格に戻りつつある。[素材生産]
自動車販売	6月の新車販売台数は、登録自動車が3,379台(前年同月比162.4%)、軽自動車が2,613台(同144.4%)で、合計5,992台(同154.0%)であった。登録車・軽自動車ともに大幅に前年を上回ったが、これは6月で県の補助金制度が終了するための駆け込み需要と思われる。
石油	ガソリン1ℓ当たり138円で前月比1円引き下げ、軽油1ℓ当たり114円で前月比1円の引き下げ、配達灯油は18ℓ1,468円で前月比9円の引き下げとなった。原油安円高傾向により、仕切り価格が弱含みとなって一息ついている状況にある。
電機販売	蒸し暑さの影響でエアコンの売上が伸びており、販売単価も多少上がってきている。テレビは相変わらず堅調であり、冷蔵庫も夏商戦の主力商品として順調に推移している。
商店街	一般消費者の買い控えが続いており、総じて小売物販業は厳しい状況にある(秋田市)。 組合病院移転の影響で、地区により売上が10～30%減少しており、最悪の状況にある(鹿角市)。 雄勝中央病院と、イオンの郊外出店の影響が大きく、個店の努力だけでは悪化は止められない(湯沢市)。
旅行業	国内、海外ともに売上は前年並みに回復し、7月の予約も回復傾向にある。
建築設計	住宅リフォームへの資金援助により受注件数は増えたが、景気回復には至っていない。